



びわ湖芸術文化財団・舞台芸術情報誌

Contents

びわ湖ホール四大テノール P2・3
 モーツァルト作曲 歌劇『魔笛』 P4
 『ジークフリート』制作発表、「指揮者セミナー」..... P5
 「びわ湖大津秋の音楽祭」..... P6
 山中千尋、「竹取」、フォーレ四重奏団 P7
 リレーエッセイ「Road to Biwako-Ring」..... P8
 びわ湖ホールインフォメーション P9
 えいじゃに・滋賀県立文化産業交流会館より P10・11
 劇場・舞台芸術の力 P12



「びわ湖ホール四大テノール」東京公演より

びわ湖ホール四大テノール

びわ湖ホール発、明るい歌声で日本を元気にする人気ユニット!

びわ湖ホール声楽アンサンブルで出会った4人のテノール歌手。
本格的な歌唱力を持つ4人は、数々のオペラの舞台や演奏会で歌声を披露しています。
でもただひとつ普通の歌手さんと違っていたのは…、4人にはとびきりのユーモアがあったのです!
粋にとられない最高の声楽エンターテインメント“びわ湖ホール四大テノール”に注目です。

4つの魅力

その1
歌声



四大テノールのメンバーは、オペラのソリストとして活躍する歌手たち。青空のように明るいテノールの歌声で、オペラ・アリアはもちろんのこと、洋楽や懐かしい歌謡曲まで多彩な楽曲を、圧倒的な歌唱力でお届けします。真面目に、そしてユーモラスに!

その2
コント



4人が全力投球で取り組む「テノールdeコント」。オペラで培った歌唱力と演技力で贈るコントは、クラシックは堅苦しいと思っている方にも楽しんでいただけます。関西仕込みの「お笑い」と「音楽」のコラボレーションで客席は笑いっぱなしに。

その3
トーク



四大テノールのステージでは、リーダー竹内直紀による軽妙なトークも人気。小ネタを挟む話術で客席を沸かせます。オペラの名曲を笑いととも楽しくわかりやすく解説できるのも「クラシック」と「笑い」の融合を追求している彼ならではの技。

その4
チームワーク



4人は2008年度から2010年度にかけての3年間、びわ湖ホール声楽アンサンブルとして共に数々の舞台を経験してきました。見事なチームワークが生み出すステージをお楽しみください。2017年には関西元文化圏賞・ニューパワー賞を受賞。

個々の活躍

“びわ湖ホール四大テノール”としての人気はもちろん、“びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー”としてさまざまなオペラや演奏会で活躍しています。

気軽にクラシック
テノール竹内直紀
～ザ・華麗なる大变身～

8月20日に開催しました。
お客様の声は右ページ!

モーツァルト作曲
歌劇『魔笛』

10月6日(土)
15:00開演 [大ホール]

3人が出演する『魔笛』の詳細は4ページをご覧ください。

スタインウェイ“ピノ”シリーズvol.5

ベルカンティッシモ!
～ロッシーニ没後150年を迎えて～

11月23日(金・祝)
14:00開演 [小ホール]
一般2,000円
青少年(25歳未満)1,000円

よく知られているようでまだまだ奥の深いイタリア歌曲の「佳曲」から、イタリア・オペラの雄、ロッシーニの傑作の数々を紹介。清水徹太郎、山本康寛らの歌と、指揮者・園田隆一郎のピアノと解説でお贈りします。



竹内直紀

二塚直紀

山本康寛

清水徹太郎

約200公演のオペラに出演。豊かな響きとリリックな歌声で、アニメソングからオペラまで幅広いパートリーで聴くものを楽しんでいます。

様々なオペラ出演のほか、各種演奏会に出演。そのドラマティックな表現と情熱的でスピリットな歌声は常に聴くものを魅了しています。

超高音を駆使しアクロバティックな歌唱をするかと思えば、繊細な表現とレジェーロ(軽やかで優美)な歌声で心を癒してくれます。

宗教曲からヴェリズモオペラをもこなし、知的で明るい歌声は常に安定。「びわ湖リング」では『ラインの黄金』ローグ役に好評を得ました。

そして、ついに大ホール公演が実現!

びわ湖ホール四大テノール 謹賀新年 笑い初め新春コンサート in 大ホール

ハイレベルな歌唱と、関西ならではの笑いをたっぷり交えたステージ。2018年3月に行った初の東京公演は満席となり、好評を博しました。そして、いよいよびわ湖ホール大ホールで公演を実現します。



【プログラム】

上 真行: 一月一日(詩: 千家尊福)
吉田千秋: 琵琶湖周航の歌(詩: 小口太郎)
さだまさし: まほろば～四大テノールバージョン～
G, プッチーニ: 誰も寝てはならぬ(オペラ『トゥーランドット』より)
テノールdeコント! ～白組だけの紅白歌合戦! ～
イタリアン・カンツォーネ・メドレー! ほか

ピアノ: 植松さやか

2019年1月6日(日) 14:00開演 [大ホール]
一般3,000(2,500)円 青少年(25歳未満)1,000円
シアターメイツ500円 ※()内は友の会会員料金

ボイス
Voice

2018.8.20
小ホール 満員御礼

終演後に直撃取材。感想をお伺いしました。

気軽にクラシック17
テノール竹内直紀
～ザ・華麗なる大变身～

Q.公演はいかがでしたか?



「楽しくてあったかくて迫力があって、すばしかったです! 時代の流れを感じさせられたところが印象に残りました」(加藤さん・写真左)。「すてきな歌声とすてきなピアノがよく合った公演でした。笑いもピカイチです。『トゥーランドット』「誰も寝てはならぬ」がよかったです。竹内さんの声、大好きです」(浦西さん・同右)



「クラシックと聞いて緊張していましたが、とてもくれた雰囲気最後まで楽しめました。華麗なる大变身が面白かったです。笑いが絶えないステージでした」(サトウさん・写真左)。「2人のコンビ、よかったです。昔からの悪ガキ2人という感じ。サービス満点でした。楽しくクラシックに親しめました」(寺ちゃん・同右)

はみだし四テナ (近江の春びわ湖クラシック音楽祭「びわ湖ホール四大テノール」公演のアンケートより一部抜粋)

「びわ湖ホール四大テノールがこんなに笑えるとは思いませんでした」「とても楽しく聴かせていただきました。一人ひとりの個性が出ていて楽しかったです」

びわ湖ホール 声楽アンサンブル

びわ湖ホール独自の創造活動の核として、開館の年となる1998年に設立した日本初の公共ホール専属声楽家集団。びわ湖ホール自主公演への出演を主な活動とし、オペラ公演や定期公演を行うほか、全国各地での公演や音楽の普及活動を行っています。活動期間を終了した歌手は50名を超え、現在は“ソロ登録メンバー”として活躍しています。



2018年4月指揮者に就任した
大川修司による初めての定期公演

びわ湖ホール声楽アンサンブル第67回定期公演 唄い継ぎたい日本のうた



指揮の大川修司氏は声楽アンサンブル創設以来、数多くのオペラプロダクションに関わってきた、びわ湖ホールにとって欠かせない指揮者の一人です。今年4月にびわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者となり、今回初めて定期公演を指揮します。一人ひとりの声の特徴を把握した上で、絶妙なハーモニーを作り上げるのが大川氏による指導の特徴。メンバーの音楽性が存分に引き出された、表情豊かな合唱が生まれます。お贈りするの、日本人の心に深く響く「うた」の数々。山田耕祐の歌曲や童謡、日本民謡などバラエティに富んだプログラムで「日本のうた」の魅力を伝えます。

【曲目】山田耕祐: この道、待ちぼうけ、からたちの花、曼珠沙華
そうらん節(北海道)、箱根八里(神奈川県)、
五木の子守唄(熊本県)、ていんさくぬ花(沖縄県)
源田俊一郎 編: 「ふるさとの四季」
小林秀雄: 「落葉松」 ほか

10月27日(土) 14:00開演 [小ホール]
一般3,000円 青少年(25歳未満)1,500円
第67回・第68回(2019年2月9日)セット券5,000円

ホームページでは、稽古や本番に取り組む
びわ湖ホール声楽アンサンブルメンバーの“1日”を
紹介しています。こちらからアクセスを!
<https://www.biwako-hall.or.jp/performance/special/membersday.html>



「四大テノール東京公演に行った友人から勧められて来ました。Happyな気持ちになりました。来年1月の大ホール、ぜひ聴きに来たいです」「サービス精神と実力、とてもよかったです!」

生きる喜びを素晴らしい音楽に乗せて!

びわ湖ホール・日生劇場提携オペラ公演
NISSAY OPERA 2018

沼尻竜典オペラセレクション

モーツァルト作曲 『魔笛』 Die Zauberflöte

(全2幕)
ドイツ語歌唱・日本語台詞・
日本語字幕付

沼尻芸術監督が優れた作品を厳選して制作・上演する沼尻竜典オペラ・セレクション。今回はモーツァルト不朽の名作『魔笛』を沼尻の指揮、新進気鋭の演出家・佐藤美晴のタッグでお贈りします。

また、10月4日には滋賀県内の高校生を無料招待して本物の舞台芸術に触れていただきます(一般の方は入場できません)。

あらすじ

いつの時代かこの国かもわからない世界。大蛇に襲われた王子タミーノを夜の女王の侍女3人が助けます。タミーノは女王の娘パミーナの絵姿を見て一目惚れ。夜の女王は「悪人ザラストロに捕われているパミーナを救い出せば娘をやる」と約束。タミーノは魔法の笛を持って、お供となったパバゲーノとともにザラストロの神殿に向かいます。その後、ザラストロは実は偉大な祭司であるとわかり…。

10月6日(土)
15:00開演【大ホール】

指揮：沼尻竜典
(びわ湖ホール芸術監督)
演出・上演台本：佐藤美晴
合唱：C.ヴィレッジシンガーズ
管弦楽：日本センチュリー交響楽団



キャスト			
ザラストロ	伊藤貴之	侍女I	田崎尚美
タミーノ	山本康寛*	侍女II	澤村翔子
弁者&僧侶I	山下浩司	侍女III	金子美香
僧侶II	清水徹太郎*	童子I	盛田麻央
夜の女王	角田祐子	童子II	守谷由香
パミーナ	砂川涼子	童子III	森 季子*
		パバゲーノ	今野沙知恵
		パバゲーノ	青山 貴
		モノスタス	小堀勇介
		武士I	二塚直紀*
		武士II	松森 治*

S席11,000(10,000)円 A席9,000(8,000)円 U30席(30歳以下)3,000円
U24席(24歳以下)2,000円 SS席・B席～E席取扱終了【全席指定・税込】※()内は友の会会員料金
青少年割引当日券



日生劇場公演より

びわ湖ホールプロデュースオペラ

ワーグナー作曲 <ニーベルングの指環>第2日



『ジークフリート』制作発表

びわ湖ホールが4年かけて上演する一大プロジェクト<びわ湖リング>。3年目となる『ジークフリート』の制作発表を8月1日に行いました。びわ湖ホール芸術監督・沼尻竜典、『ラインの黄金』(エルダ役)と『ワルキューレ』(ブリュンヒルデ役)に出演し今回の『ジークフリート』でもブリュンヒルデ役で出演する池田香織、びわ湖ホール館長山中隆が出席しました。



びわ湖ホール芸術監督 沼尻竜典

演奏の難易度は非常に高い

『ジークフリート』は、ヘビを退治して、宝物をゲットして、宝物の持つ不思議な力を借りてブリュンヒルデを長い眠りから覚ますという、子どもでもわかるストーリーです。でも実際にはワーグナーは大変長いテキスト(歌詞)を書いています。曲は『神々の黄昏』の方が長いけれど、テキストの量は『ジークフリート』の方が長い。従って必然的に勉強量も増えるので、演奏するのも歌うのも大変です。

ブリュンヒルデ役 池田香織

仲間の連帯感が生まれるのが楽しみ

作品が長いのでお稽古も長い(笑)。演出のハンベさんは大変長い時間をかけて、妥協なく芝居を作るので、みんなの連帯感が生まれます。それは歌手としていい経験ですし、互いに切磋琢磨し、気分が盛り上がります。クリスティアン・フランツさんは何時でも歌える強靱な声の持ち主で、一番うしろの席まで歌詞がきちんと聴こえる素晴らしい歌手。一緒に作っていただけるのが楽しみです。

びわ湖ホール館長 山中隆

各地からご来場いただく嬉しい状況

単独制作として進めている<びわ湖リング>は地元滋賀県や関西圏の方はもちろん、首都圏や中部圏など広範囲の方にご注目、ご来場いただいております。『神々の黄昏』まで成功させていきたいと考えております。

REPORT

沼尻竜典オペラ指揮者セミナーⅣ ～《蝶々夫人》指揮法～

第4弾となる今年『蝶々夫人』を題材に開催。公募で選ばれた若手指揮者たちは、プロの歌手やオーケストラを前にタクトを振り、音楽のつくり方を学びました。沼尻は「動きが忙しすぎる。もうちょっと省略してもいいですよ。でも消極的に見えないように」、「思い入れが強すぎてテンポが遅くなっちゃったかな。指揮者が大きく息を吸うと、歌手が遅く歌うしかなかった(笑)」など、具体的に、またユーモアを交えながら指導。客席の聴講者にも指揮による音楽の変化を楽しんでもいただきました。今年も充実した3日間の暑い夏が終了しました。来年にもぜひご期待ください。

↑1日目は2台のピアノを用いて楽曲分析や指揮法を。



↑2・3日目は大阪交響楽団を前に演習。熱心な指導が続きます。

↑大型スクリーンで指揮の様子を映し出します。3日目は成果発表も行ないました。

REPORT

『魔笛』の上演に先立ち開催されたプレトーク・マチネの様子をレポートします



写真左から沼尻竜典、岡田暁生(京都大学教授)。司会は井上建夫(前びわ湖ホール館長)で進行



タミーノが第1幕で歌うアリア「美しい絵姿」を清水徹太郎が披露。ピアノ演奏は植松さやか
晴雅彦と中嶋康子が第2幕の「リタヴィアの二重唱」をコミカルに演奏し、会場を盛り上げました

2018.8.4
小ホール

「一見メルヘンだけれど、人間とは何かを表現した作品」

■岡田暁生

『魔笛』は野島伸司のドラマになるような作品(笑)。家庭崩壊のモチーフがたっぷり入っている。最悪の夫婦仲の両親(=夜の女王とザラストロ)、母から自立しようとするがヒステリーを起こされると(=夜の女王のコロラトゥーラのアリア)反抗できなくなる娘パミーナ。『魔笛』は一見メルヘンチックに見えるけれど、そんな生ぬるいものを書くモーツァルトではない。タミーノくんは、優しいけれどお前の主体性あんのかい?というエリート男子で(笑)、モーツァルトはそんな彼に「きれいだけど深さが無い曲」を書いた。そういう音楽を作る天才だったというのが私の説です。そしてストーリー中では「まっとうな人たち」から外れていると見えるパバゲーノやモノスタスに、彼は素晴らしい音楽をつけた。3人の侍女がタミーノに「おさわり」するシーンにも世にも美しい音楽がついている。社会の外にこそ自由があるというのが『魔笛』のメッセージだと思います

■沼尻竜典

「たぶん世界で上演数は3位以内。ただし成功した演出はあまりない。テキストも非常に長く、難しい作品です。キャストはオーディションで決まるのですが、5人のびわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバーは実力で役を取りました。また、パバゲーノには、我がヴォータン青山貴さんが出演します(びわ湖リングではヴォータン役)。情けないパバゲーノの姿を見てほしい(笑)。隙のないキャスティングで音楽の良さを再認識していただけます」

「びわ湖大津 秋の音楽祭」2018年 9月8日(土)～11月11日(日)

“音楽の〇△□(カタチ)を見つける”をキーワードにさまざまな文化や芸術を楽しめる「びわ湖大津 秋の音楽祭」。文化・芸術活動の発展と大津市の活性化を目指してスタートし、今年10周年目を迎えました。びわ湖ホールや大津市民会館、なぎさ公園おまつり広場など15の会場ではジャズやクラシック、伝統芸能など多彩なイベントを展開しています。9月8日のオープニングイベント「第10回大津ジャズフェスティバルプレイベント AFTERNOON JAZZ～びわ湖の風に吹かれて～」で華やかに開幕。11月11日までの期間中、音楽の街・大津を目いっぱい楽しんでください。



↑昨年より登場したロゴマーク。びわ湖と音符がモチーフです。



↑公演情報を載せたパンフレットをびわ湖ホールほかで配布中。

〈びわ湖大津秋の音楽祭〉びわ湖ホール参加公演(一部)

- 9/30 (日) 14:00 マーラー作曲 交響曲 第8番「千人の交響曲」
- 10/6 (土) 15:00 モーツァルト作曲 歌劇『魔笛』
- 10/7 (日) 14:00 室内楽への招待 フォーレ四重奏団
- 10/14 (日) 14:00 アンサンブルの楽しみ～演奏家のつとめ～ vol.10
- 10/20 (土) 14:00 イリーナ・メジュエワ オールドビュッシー・リサイタル
- 10/21 (日) 15:00 現代能楽集『竹取』
- 10/27 (土) 14:00 びわ湖ホール声楽アンサンブル 第67回定期公演
- 11/4 (日) 16:00 山中千尋 ニューヨーク・トリオ
- 11/11 (日) 14:00 佐藤俊介 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル



↑昨年の様子。舞台いっぱいに参加者が並び、迫力の演奏を!



←音楽の楽しさを表現すれば右に出るものはないといわれる丸谷明夫先生。滋賀県高島市出身。愛称は丸ちゃん。

メインイベントはこちら! 「びわ湖に響け! 1000人の吹奏楽with淀工」

メインイベント「1000人の吹奏楽」は吹奏楽界で人気・知名度ナンバー1の指導者、丸谷明夫氏を指揮に迎え、びわ湖ホール大ホールで開催します。第1部は全日本吹奏楽コンクールで最多金賞を誇る大阪府立淀川工科高等学校吹奏楽部の演奏。第2部は、滋賀県の中学校・高校の吹奏楽部や一般参加の方との大合奏によるステージです。

- 第1部**
大阪府立淀川工科高等学校吹奏楽部によるステージ
(曲目)
カーペンターズ・フォーエバー ほか
- 第2部**
1000人の吹奏楽
(一般公募による参加者と大阪府立淀川工科高等学校吹奏楽部によるステージ)
(曲目)
アルメリアン・ダンス パート1
故郷(ふるさと)
星条旗よ永遠なれ

11月3日(土・祝) 15:30開演【大ホール】
S席1,500円 A席1,000円 9/21(金)友の会優先発売 9/22(土)一般発売
問い合わせ:びわ湖大津秋の音楽祭運営協議会 TEL.077-528-2501

ボイス Voice
2018.7.15 中ホール
フィリップ・ドックフレ/DCAを観た
追手門学院大学社会学部の皆さま

Q.ダンスの公演はいかがでしたか?



3年生 大谷桐子さん
最初の演目「デュオ」は“身体で表現するとはどういうことなのか”を観客に突きつけるような作品だと感じました。それぞれの独立した短編に、セクシー、パワフル、コミカルという異なる要素が詰まっていた、飽きることなく楽しめました。



3年生 大野未貴さん
幻想的な…、誰かの頭の中を覗いているような舞台でした。ちょっとそのまんまかもしれないですね(笑)。終演後のトークで「夢」という単語を聞いて、だから言葉にするのが難しいのかとびっくりしました。



4年生 西尾紗希さん
4つ目の宙吊りのパフォーマンスでは、風のような何かを掴もうとしながらも掴めずに去っていく演出が心に残りました。「日本への旅」は色や音もポップで華やか!ラストもふわっと明るい感じで締められていましたね。



4年生 砂川駿人さん
「進化」の全体的なストーリー性と音楽と身体の動き、そしてそこに映像が加わることによる奥深さが印象的でした。また、途中で衣裳に“スーツ”が追加されたことによって、“人”が認識できた瞬間も面白かったです。

クラシックの名曲をジャズアレンジで!



大人の楽しみ方24<ジャズ> 山中千尋 ニューヨーク・トリオ

ニューヨークを拠点に世界を駆けるジャズ・ピアニスト山中千尋がホールコンサートを開催。クラシック界の巨匠たちの名曲が、斬新かつ超絶なアレンジで現代のジャズに生まれ変わります。

【曲目(予定)】
パダジェフスカ:乙女の祈り サン＝サーンス:白鳥
ガーシュウィン:ラプソディー・イン・ブルー～ストライク・アップ・ザ・バンド ほか
11月4日(日) 16:00開演【中ホール】
S席5,000(4,500)円 A席4,000(3,500)円
青少年(25歳未満)2,000円 ※()内は友の会会員料金

山中千尋さんへのQ&A

Q.今回のコンサートの聴きどころを教えてください
ジャズ用語で「スタンダード曲」という言葉があり、有名なブロードウェイ歌曲などの楽曲を指します。つまり誰でも知っている曲のことなのです。そういった意味では、クラシック音楽はまさに「スタンダード」。ジャズ演奏の素材にぴったりです。今回もあのクラシック有名曲を大胆に楽しくアレンジし、最高のトリオでお届けします。

Q.びわ湖ホールの印象を教えてください
これほど美しい音響を持つ会場は世界のコンサートホールでも稀です。また、びわ湖に近く、豊かな自然に囲まれていることも素敵です。世界的指揮者で芸術監督である沼尻竜典さんは、私の大先輩でもあります。素晴らしいびわ湖ホールにふさわしい演奏ができますよう、本番に向け、練習しコンディションを整えていきます。ジャズは生で聴いていただくのが一番。難しい理屈抜きにトリオのやりとりの楽しさを感じていただければ嬉しいです。

竹取物語の再生!

現代能楽集『竹取』

日本最古の物語「かぐや姫」を新たなおとぎ話として現代に甦らせませす。演出は、マイムなど身体表現を使ったスタイルで注目を集める小野寺修二。小林聡美、貫地谷しほりをはじめ、ダンサーや能楽師など7人が出演しますが、「誰が何役」と固定されないのが小野寺作品の特徴。どう展開するか楽しみな「竹取」にご期待ください。

10月21日(日) 15:00開演【中ホール】

S席5,000(4,500)円 A席3,000円
※()内は友の会会員料金 **青少年割引当日券**



撮影:久家靖秀

構成・演出:小野寺修二
脚本:平田俊子 音楽:阿部海太郎
企画・監修:野村萬斎
出演:小林聡美 貫地谷しほり
小田直哉(大駱駝艦) 崎山莉奈
藤田桃子 古川玄一郎(打楽器奏者)
佐野 登(能楽師 宝生流シテ方)

TOPICS

貫地谷しほりさん記者懇談会開催

かぐや姫の印象について「小さい頃は絵本で読んで、ファンタジーの世界に惹かれていました。最近では、かぐや姫の美しさ、罪って何なんだと思ひ、暗い側面を持った物語なのかなと興味を感じています」とコメント。また「身体表現は苦手ですが(笑)、昔から知っている物語に入っていける喜びと、いろんな思いを作品にぶつけて、新たな自分を発見したいです」と意気込みを。役については「かぐや姫のイメージに合う」と小野寺さんからオファーをいただいたんですが、今そこがふわ～っとして。私かぐや姫って決まっているわけじゃないんだって(笑)。小林聡美さんとは、私たち媼と翁かもしれないね、なんて話しています。いろんな登場人物がどう表現されるのか楽しみです」と明るく話しました。



ピアノでも、オーケストラでもない「展覧会の絵」をピアノ四重奏で

室内楽への招待 フォーレ四重奏団

世界トップレベルのピアノ四重奏団がびわ湖ホールに初登場します。各地で絶賛を受ける極上のアンサンブルをお楽しみください。

【曲目】
フォーレ:ピアノ四重奏曲第1番 短調 op.15
シューマン:ピアノ四重奏曲 変ホ長調 op.47
ムソルグスキー:組曲「展覧会の絵」(ピアノ四重奏版)

10月7日(日) 14:00開演【小ホール】
一般4,500(4,000)円 青少年(25歳未満)2,500円
※()内は友の会会員料金



フォーレ四重奏団へのQ&A

Q.フォーレ四重奏団を結成されたきっかけは?
カールスルーエ音楽大学でのリハーサルで出会ったのですが、すぐに室内楽への愛を分かち合い、楽譜に没頭し、共に音楽を創り上げることができるとがわかりました。そして、なんと23年後にこのようにびわ湖ホールで演奏できるとは、当時は思いもしていませんでした!

Q.「展覧会の絵」の聴きどころを教えてください
「展覧会の絵」は世界的にもとてもポピュラーな作品ですが、私たちがもっともよく知っているのはラヴェルによるオーケストラ編曲版です。そのサウンドはフランスの要素が強く、ラテン的で軽快です。私たちのカルテットのピアニストであるディルク・モメルツとグリーシャ・グルズマンが編曲したバージョンでは、暗く重厚な響きから光り輝くサウンドまでお聴きいただけます。とてもロシア的な色彩なので、それぞれの絵画のもとへと皆さんをお連れできるでしょう。

Q.ピアノ四重奏の魅力は?
4人それぞれが持つ情熱、知識、エネルギー、そして感情と一緒に音楽にすることで、美しく感動的であり、忘れがたく説明しづらいものを創り上げることができると思います。ピアノ四重奏は、例えば弦楽四重奏などに比べても音の作り方の可能性が幅広く、とても深奥で交響的な響きも出すことができるのです。

Q.お客様にメッセージをお願いします
3人の異なるロマン派の作曲家をお聴きいただきます。シューマン、フォーレ、ムソルグスキーは同じ時代を生きましたが、その音楽はサウンドも表現も様々です!しかし、彼らには、素晴らしい作曲家であり、作詞家でもあったという共通点があります。時々、フォーレはフランスのシューマンと呼ばれることがあります…。彼らの母国語がそれぞれ異なっているように、作品に対する感情やエネルギーの表現は異なっていますが、国がどこであろうと心と魂で理解されるべきものはつながっているのです。

変幻自在な感情表現に驚嘆!

音楽評論家 山野雄大

親密で躍動感溢れる室内楽—たとえば弦楽四重奏やピアノ三重奏など数知れぬほどの団体があるけれど、珍しいのが(ピアノ四重奏団)。4人が臨時に組むことはままあるものの、毎日演奏を共にする常設団体としてこの編成を究めているのは、フォーレ四重奏団が世界でほぼ唯一という存在だ。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロという弦楽器の均質な響きに、発音の異なるピアノが加わるバランスの難しさが一筋縄ではいかないジャンルだが、だからこそ作曲家たちが粋を尽くして傑作を残しており(モーツァルトから現代に至るまで、500曲はあるそうだ)腕達者な4人が精妙親密な表現を磨き込んで響かせる深みと美しさは格別。メンバーいわく「中音域を担って響きを深めるヴィオラと、ピアノとの一体感他は室内楽にない魅力」という聴きどころもあるし、なにしろ緻密な対話から交響的な表現まで均衡を保つ絶妙なサウンドといい、感情表現の変幻自在が様々な演目を満喫させてくれる団体なのだ。



びわ湖ホールでは、2016年度から4年をかけて、ワーグナーの超大作『ニーベルングの指環』四部作の新制作に取り組んでいます。
“びわ湖リング”をより深く楽しむためのリレーエッセイ“Road to Biwako-Ring”です。



菩提樹の花の香

京都大学人文科学研究所教授
文学博士

岡田 暁生

私にとってワーグナーの楽劇といえば、どうしてもかつてのドイツ留学中のいろいろな思い出ががちがたく結びついている。例えば『ニュルンベルクの名歌手』。ミュンヘンで初演されたこの楽劇は、当地のオペラ劇場にとって本当に特別な演目で、上演されるのは年一回、7月31日と決まっていた。夏のオペラ祭の「とり」であり、いわば南座の顔見世公演よろしく、このときはバイエルン国立歌劇場が擁する最高の歌手たちがざらりと並べられる。私がいたころはテオ・アダム、ルネ・コロ、クルト・モル、ヘルマン・プライ、ルチア・ポップらが毎年総出演だった。目も眩むようなメンバーである。7月31日といえば大学も含めてバイエルン州が夏季休暇に入る前日だから、今でもあの『名歌手』の前奏曲を聞くと私は、翌日から夏休みが始まるような気になる。そしてちょうどその時期にいつもかぐわしい香りを漂わせる菩提樹の花の匂いを思い出す。

この菩提樹の花の香などもそうだが、ワーグナーの楽劇は実に見事にドイツの自然風物を描いていると思う。いつかシュタルンベルク湖一ワーグナーのバトロンドだったルートヴィヒ二世が謎の入水自殺を遂げた湖一に遊びに行ったとき、それはまだ10月末だったのだけれども、なぜか突然気温が氷点下まで下がって、湖畔に着いた途端に凍てつくような吹雪に襲われた。油断していて厚着もしておらず、だんだん気が遠くなっていく。その時私は、雪嵐で白くイルミネーション



ンされた黒々とした雪雲の合間に、天馬に乗って戦場を駆け、戦死した勇者を天上の宮殿ヴァルハラへと連れて行くワルキューレたちが、本当に見えた気がした。そして風の唸り声があいつの間にかワーグナーの音楽に変わっていた。

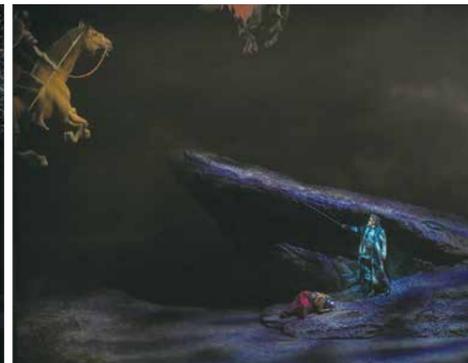
対するに『ジークフリート』の朗らかなホルンのモチーフを聞くと思い出すが、秋のザクセン地方の森である。ドイツ南西部のいわゆるシュヴァルツヴァルトは、直訳すれば「黒い森」となるが、針葉樹が多い。秋になっても木は葉をつけたままだ。対するにザクセン一ワーグナーはこの地方に深く精神的な根を下ろしていた作曲家だ一森は広葉樹が多いから、10月くらいになると素晴らしい紅葉が見られる。しかし日本の森の紅葉と違うのは森の底知れない深さである。今にもそこそこ小人が出てきて挨拶してくれそうだ。それはまさにドイツのメルヘンの世界そのものである。

ただし『ジークフリート』も第三幕になると音楽の風景が変わる。ブリュンヒルデが炎に包まれて眠る高峰の頂には、もはや美しい紅葉を見せる木々は見当たらないだろう。それは空気も薄い氷河であるに違いない。あの比類ない目覚めの場面の音楽を聴いていると、はっきり私は氷と冷気を感じる。ミュンヘン南のアルプス、ドイツで最高峰のツークシュピッツェを思い出す。

今では過剰に現代化ないし抽象化された舞台上で上演されることが多いワーグナー楽劇だが、それが描き出す見事なドイツの風物詩がそれによって聞き逃されてしまうことになるなら、少し寂しい。

Profile 岡田暁生 (おかだ あけお)

1960年京都生まれ。大阪大学文学部博士課程単位取得退学。ミュンヘン大学およびフライブルク大学で音楽学を学ぶ。現在京都大学人文科学研究所教授。文学博士。著書には『音楽の聴き方』(中公新書2009年)、『ピアニストになりたいー19世紀 もう一つの音楽史』(春秋社2008年)、『恋愛哲学者モーツァルト』(新潮選書2008年)、『西洋音楽史ークラシックの黄昏』(中公新書2005年) などがある。



2018年3月「ワルキューレ」より

「びわ湖ホール友の会」 会員募集中

一般会員

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、館内レストランサービス、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスをご提供いたします。

[一般会員]
年会費2,500円(税込)
[クレジット一般会員]
年会費2,379円
(クレジットカード年会費1,350円含・税込)

<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136



サポート会員

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待やオペラ公演のゲネプロにご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費 一口につき10,000円(税込)

<お問い合わせ> びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

特別会員

びわ湖ホールの舞台芸術に関する事業に賛同し、これを支援してくださる企業・個人様向けの会員制度です。

□主催公演へのご招待 □チケット優先予約・無料郵送 □ゲネプロへご招待
□情報誌やホームページへの会員名掲載 □メインロビーへの会員名掲示
□びわ湖大花火大会観覧ご招待 など

詳しくはホームページをご覧ください。

<お問い合わせ> びわ湖ホール広報マーケティング部 TEL.077-523-7140

《特別会員》のみなさま
アマノマネジメントサービス株式会社/綾羽株式会社/新木産業株式会社/一團テクノス株式会社/いなみ矯正歯科/上原恵美/エスベンサー株式会社/株式会社栄光社/エルコーポレーション株式会社/SMBC日興証券株式会社大津支店/NTT西日本 滋賀支店/近江精工株式会社/大谷 蔵公認会計士事務所/大塚産業ソーイン株式会社/大津商工会議所/おかもと眼科クリニック/株式会社奥田工務店/オブテックスグループ株式会社/オムロン株式会社/オリックス・ファシリティー株式会社/滋賀支店/株式会社関西アーバン銀行/木村水産株式会社/株式会社京都銀行/京都信用金庫滋賀本庫/京都橋大学/京都中央信用金庫/株式会社京都西川/株式会社さきでん滋賀支店/株式会社キントー/草津電機株式会社/京滋舞台芸術事業協同組合/京阪ホテルズ&リゾート株式会社 琵琶湖ホテル/甲賀高分子株式会社/株式会社コングレ/株式会社笹川組/ささなみ法律事務所/株式会社佐藤総合計画関西事務所/三精テクノロジーズ株式会社/株式会社三東工業社/株式会社しがぎん経済文化センター/株式会社滋賀銀行/滋賀近交運輸倉庫株式会社/滋賀県信用金庫協会/滋賀トヨベツ株式会社/レクス大津/株式会社滋賀富士通ソフトウェア/滋賀ヤサカ自動車株式会社/株式会社自然総研/株式会社JEU/GI/公益財団法人秀明文化財団/株式会社昭和バルブ製作所/株式会社スマイ印刷/学校法人純美純美園/成安造形大学/瀬田医院/総合警備保障株式会社滋賀支店/株式会社そごう・西武 西武大津店/ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場/株式会社ダイフク滋賀事業所/ダイワエレックス株式会社/大和証券株式会社京都支店/高坂剛/高坂哲夫/高坂学人/タカヒサ不動産株式会社/株式会社田中家石材/ちばしレディースクリニック/株式会社DGコミュニケーションズ/thymos/株式会社天下一品/東海上日動火災保険株式会社滋賀支店/東和警備保障株式会社/株式会社ナカザワ/日新薬品工業株式会社/株式会社ニッセイコム/日本観光開発株式会社/日本生命保険相互会社/日本ソフト開発株式会社/日本メンテナンス株式会社/日本メンテナンス株式会社大津支店/のぞみクリニック/野村證券株式会社大津支店/パウ・クリエイト株式会社/長谷川公認会計士事務所/パナソニックESエンジニアリング株式会社近畿支店/公益財団法人ハクバ文化振興財団/株式会社日立建機ティエラ/株式会社ビルディング・コンサルタントワイス/びわ湖大津プリンスホテル/琵琶湖汽船株式会社/びわこ成蹊スポーツ大学/びわ湖放送株式会社/兵神装備株式会社滋賀事業所/ホテルテトラ大津/ホテルピアザびわ湖/ホテルブルーレーク大津/株式会社松村電機製作所関西支店/豆藤/株式会社みずほ銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社/南草津野村病院/宮川印刷株式会社/株式会社村田製作所野洲事業所/山科精器株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所/ヤンマー株式会社/横田昌和公認会計士事務所/立命館守山中学校・高等学校/龍谷大学吹奏楽部/ロマン楽器株式会社/株式会社ワコール

(五十音順・敬称略・一部非掲載/2018年9月6日現在)

シアターメイツ会員募集中

6歳~18歳なら誰でも入会可!

シアターメイツは子どもたちに気軽に舞台芸術を楽しんでいただく会員制度です。びわ湖ホールでは感性を豊かにする質の高い公演をたくさんご用意しています。舞台芸術を“生”で観て、聴いて、心を育む体験をぜひ!

- 特典1 シアターメイツ優待公演は青少年チケット料金の半額
- 特典2 シアターメイツ限定イベントへの参加
- 特典3 劇場を楽しむためのオリジナルブックプレゼント

さらに びわ湖ホール主催公演にご来場でスタンプ1つ! スタンプを5つ集めるとスペシャルプレゼント

<ご入会方法など詳しくはホームページをご覧ください。>



びわ湖ホール 舞台芸術基金

~舞台芸術へのご寄付をお待ちしています~

皆さまから頂戴したご寄付は、基金として大切にお預かりし、3種類の事業に活用してまいります。(ご寄付の際にお選びいただけます)

- 1.びわ湖ホール声楽アンサンブルへのご支援
- 2.「次世代育成事業」へのご支援
- 3.「舞台芸術全般」へのご支援

■インターネットでお申込み&クレジットカードによる決済で簡単に
お手続きいただけます。https://www.biwako-hall.or.jp
■金融機関からもお振込みいただけます。



<お問い合わせ> びわ湖ホール広報マーケティング部 TEL.077-523-7140

お知らせ 2019年度のびわ湖ホール一部利用休止について

びわ湖ホールは1998年の開館から本年で20周年を迎えました。来年2019年は舞台機構の制御改修工事が予定されており、下記のとおり一部利用休止させていただきますこととなりましたのでお知らせいたします。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

- 休止施設 大ホール・中ホール
- 休止期間 2019年8月19日(月)~2019年12月20日(金)
- 休止しない施設 小ホール・リハーサル室・練習室1~3・研修室・メインロビー

※なお、ホール事務室、チケットセンターは通常どおり営業いたします。

<お問い合わせ> びわ湖ホール管理部 TEL.077-523-7135

びわ湖ホールを借りるには

びわ湖ホールでは大ホール・中ホール・小ホール・リハーサル室・練習室・研修室の貸館を行っております。音楽、演劇、舞踊など舞台芸術の公演や練習、各種大会等にご活用ください。施設利用のお申し込み方法、ご利用料金、ホールの空き状況など詳しくはお問い合わせください。



冬のギフト推奨品

吟味した素材と葉匠の技が生きた銘菓をご用意しております。

かとう しょう じゅ かん すな い さし
叶匠壽庵 寿長生の郷 定休日 通常水曜日 営業時間 10:00~17:00
〒520-2266 滋賀県大津市大石龍門4-2-1 <お問い合わせ> TEL.077-546-3131 http://www.kanou.com

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社叶匠寿庵

はずむ心のお買物

平和堂

〒522-8511 滋賀県彦根市小泉町31番地
TEL (0749) 23-3150 FAX (0749) 23-3118
URL http://www.heiwado.jp/

びわ湖ホールオフィシャルスポンサー:株式会社平和堂

びわ湖芸術文化財団「地域創造部」と「文化産業交流会館」からの情報をお伝えする「えいじやに」。

文化産業交流会館では、県民の皆さまとともに文化・芸術事業を推進していくために、一般公募による事業提案を募集し、提案者と協働・連携しながら事業を実施しています。

今回は、平成30年度県民協働企画事業の中から、11月11日(日)に開催される『「流星音」岡田兄弟コンサート2018』に出演される、岡田健太郎さん、和宏さん、通利さん3人にお話をお聞きしました。

※「えいじやに」は、Art journeyからネーミングしました。気軽にArtの旅を楽しんでください。

ただのバンドじゃない。クラシックのコンサートでもない 「流星音」岡田兄弟コンサート 2018

三人三様の音楽史 一何故兄弟3人そろって音楽家になったのですか？

和 宏：うちは両親とも歌が好きだったので、家族みんなで歌うことが多かったんです。子どもの頃から全国童謡歌唱コンクールに出場したりしてました。

健太郎：特に英才教育でもなく、ピアノも音楽も習い始めたのは高校生のときでした。それまで僕は普通に大学に行って、サークルでバンドをやるんだと思っていたけれど、それがなぜか音大に行くことになって…。

和 宏：親の期待もあったんだろうね。健太

郎には重かったみたいだけど、僕にはうらやましかった。僕はテノール歌手になろうと思って音大で4年間、声楽をがんばりました。結局、声楽を続けたのは通利だけでしたけど…。

通 利：僕は2人の影響はあったけど、それほど音楽一途でもなく、一回はきちんと声楽を習っておこうかな、と軽い気持ちで習いに行ったら、そこでクラシック・声楽にはまってしまった。



Profile / 岡田兄弟

米原市出身。メンバー全員が音大音楽科出身の本格派ボーカルグループ。2007年、共にシンガー・ソングライター岡田健太郎・和宏によるシングル「矢印」が、ドラマの挿入歌に採用されデビュー。通利もライブメンバーとして参加。2016年、アルバム「流星音」を発表。現在ライブ、学校公演等で活動中。
長男 岡田健太郎(ボーカル・ピアノ 右)
次男 岡田和宏(ボーカル・ギター 中央)
三男 岡田通利(ボーカル・カホン 左)

兄弟のアンサンブル ー3人で演奏するようになったきっかけは？

健太郎：和宏はポップスの方が向いている、と思っていたので、大学を卒業して働いていた和宏を「2人で東京へ行って音楽をやろう!」と誘いました。

和 宏：東京へ出てから5年後に「矢印」がテレビドラマの挿入歌に採用されて、デビューを果たしました。その頃、通利は声楽家だったけど、「パークッションやらへん?」と誘って、そこから3兄弟で演奏する機会が増えました。でも3人も「自分なりの音楽」を追求したくて、3兄弟の活動はいつ

たん休止。

健太郎：7年後、3兄弟の公演をした時、以前とは技術的にも、気持ちの面でも、全然違っていました。それ以降、3人でのコンサートも積極的に開催しています。

通 利：オリジナル曲以外にも、カバー曲を織りこむなど、これまでとは違った3兄弟でのコンサートをお届けできるようになりました。

コンサート「流星音」のこと ー「流星音」はどんなコンサートですか？

健太郎：オリジナルソングあり、オペラあり、ビートルズあり、ジャンルの垣根をこえて、兄弟3人がともに奏でるコンサートです。

和 宏：3人はそれぞれ声の質が違う。その声を活かしたコーラスで、オリジナル、クラシック、ポップスを演奏し、音楽の楽しさを知ってもらいたいです。

通 利：どこに行っても、何をやっても、悩んだり迷っても、自分の原点、もともと自分の中にあるものは大事にしたい、そんなメッセージが伝わるというですね。

健太郎：今度のコンサートは、事前(9/23)に、「ワークショップみんなのびわ湖ソングを作ろう!」で環境問題を含め参加者と、いま一度びわ湖に目を向け県民による県民のための歌を作り、発信できる機会にしたいと思い提案しました。また、子どもから大人までが地元を大切に思い、未来のびわ湖を描ききっかけになると良いと思っています。一緒に作った歌は、フルコーラスの曲として完成させ、音源や譜面なども作成します!コンサートでは、「新・びわ湖ソング(仮)」を披露したいです。

平成30年度県民協働企画事業「流星音」岡田兄弟コンサート2018

日時 11月11日(日) 14:00開演
会場 小劇場
入場料 一般2,800円 25歳以下1,500円 小中学生1,000円 [全席自由]
※当日各500円増(残席ある場合のみ販売)

プログラム
流星音、新・びわ湖ソング(仮)、腐養人、オレンジライン、HELP!、誰も寝てはならぬ(オペラ"トゥーランドット"より) ほか

COLUMN ■ ニットキャップシアター ごまのはえ 演出席はお菓子の山

稽古場の中心にある机と椅子。それこそが私の仕事場、演出席だ。昔の怖い演出家はブクブク煙草をふかしながら稽古を見たが、今は喫煙可能な稽古場はほとんどないだろう。なので演出席には灰皿のかわりに沢山のお菓子が並び、眠気覚ましのかみや飴をおく人もいるだろうが、圧倒的に多いのは「お土産」である。役者やスタッフが旅や出張で稽古を休むと決まってお詫の品を稽古場に持ってくる。「これ、皆さんで食べてください」そういって包装紙をバリバリ破き、演出席に置くのだ。なぜ演出席に置くのか、不満もある。台本を広げるスペースもなくなるし、それでも稽古場のコミュニケーションが円滑に進むならしかたがないと我慢する。こうして演出家はお菓子の山に囲まれ、まるで地蔵盆のような机から、稽古に目を光らせる。そこにはかつて「先生」と呼ばれ恐れられた職業の威厳は、ない。



<情報>

今年も脚本と演出にごまのはえさんを迎え、12月22日(土)・23日(日・祝)に、文化産業交流会館で県民参加による演劇公演を開催します。地元演劇関係者とともに舞台を制作します。8月に行ったおためしワークショップを経て、9月から本格的に稽古が始まり、メンバー一同、本番に向けて力をいれて稽古に取り組んでいます。

文化産業交流会館 イベント情報

びわ湖ホール声楽アンサンブル みんなで作ろう! 林 光作曲 オペラ「森は生きている」(米原公演)

音楽で紡がれる「森は生きている」は、珠玉のメロディーの宝庫。日本語で作曲され、音楽と言葉が一体となった「森は生きている」は、初めて観るオペラにぴったりの作品です。

日時 12月8日(土) 14:00開演 **会場** 小劇場
演出 中村敬一 **ピアノ** 寺嶋隆也
出演 びわ湖ホール声楽アンサンブル、レスピラシオン・米原市立伊吹小学校3年生・4年生(合唱指導:白谷仁子)
入場料 前売一般1,000円 25歳以下500円
当日一般1,200円 25歳以下600円 [全席自由] **10月6日(土)チケット発売開始**



昨年度の公演の様子

滋賀県次世代育成ユースシアター事業

県民参加によるニットキャップシアター主宰ごまのはえ作・演出のオリジナル音楽劇です。

日時 12月22日(土)・23日(日・祝) **会場** 小劇場
作・演出 ごまのはえ(ニットキャップシアター主宰)
入場料 一般1,000円 25歳以下500円 [全席自由] ※当日各500円増
10月13日(土)チケット発売開始予定



平成29年度 音楽劇「美味しいメロディ改」(撮影:山下一夫)

地域創造部 イベント情報

文化プログラムフェスティバル事業 びわ湖☆アートフェスティバル2018

滋賀県ゆかりの若手芸術家や文化活動者によるびわ湖☆アートフェスティバル(BAF)

日時 12月22日(土) 11:00~18:00 **会場** びわ湖ホール全館

■ BAFジュニアオーケストラ・クリスマスコンサートwithバレエ

会場 大ホール **入場無料**(要整理券) 3歳未満入場不可
時間 18:00開演(19:50終演予定)
[指揮] 瀬山智博
[管弦楽] BAFジュニアオーケストラ
(大津ジュニアオーケストラ、彦根JOYジュニアオーケストラ、さくらジュニアオーケストラ)
[バレエ] 滋賀洋舞協会
曲目 チャイコフスキー/弦楽セレナーテ ほか

■ 平成29年度滋賀県文化賞受賞記念 びわ湖ホール声楽アンサンブル・コンサート

会場 中ホール **時間** 14:00開演(15:00終演予定)
入場料 一般1,000円 25歳未満 500円(全席自由) 3歳未満入場不可
10月4日(木)チケット発売開始
[出演] びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

■ 平成29年度滋賀県次世代文化賞受賞記念 リード希亜奈ピアノ・リサイタル

会場 小ホール **時間** 15:30開演(17:30終演予定)
入場料 一般1,500円 25歳未満 500円(全席自由) 3歳未満入場不可
10月4日(木)チケット発売開始
曲目 ショパン/スケルツォ 第4番 ホ長調 op.54、ドビュッシー/喜びの島 ほか

■ BAFアートフリーマーケット

会場 メインロビー **入場無料** **時間** 11:00~18:00

■ BAFクリスマス・ロビーコンサート

■ クリスマス・ア・カペラ ライブ

■ デンマークのクリスマス飾り「ユールヤータ作り」

■ ワークショップ 名画でびっくりカラーズ クリスマス編



BAFジュニアオーケストラ(昨年の公演)



BAFアートフリーマーケット(昨年の様子)

平成30年度 滋賀県アートコラボレーション事業 おうみ狂言図鑑 2018-2019

茂山千五郎家の協力を得て、狂言の「笑い」と「近江」の魅力をご堪能あれ!

[出演] 茂山千五郎家

日時 12月8日(土) 14:00開演
会場 草津クレアホール
入場料 一般2,000円 25歳以下1,000円(全席指定)
演目 新作狂言「Ooh, Namazu!?!」、古典作品「萩大名」「棒しばり」

日時 2019年2月17日(日) 14:00開演
会場 守山市民ホール
入場料 一般2,000円 25歳以下1,000円(全席指定)
演目 新作狂言「HOTAL-HOTEL」、古典作品2作品
11月17日(土)チケット発売開始予定

日時 2019年2月23日(土) 14:00開演
会場 てんびんの里文化学習センター
入場料 一般2,000円 25歳以下1,000円(全席指定)
演目 新作狂言「HOTAL-HOTEL」、古典作品2作品
11月17日(土)チケット発売開始予定

日時 2019年3月2日(土) 14:00開演
会場 伊吹葉草の里文化センター・ジョイホール
入場料 一般2,000円 25歳以下1,000円(全席自由)
演目 新作狂言「HOTAL-HOTEL」、古典作品2作品
11月17日(土)チケット発売開始予定

※各公演とも未就学児入場不可



おうみ狂言図鑑コレクションVol.8「Ooh, NAMAZU!?!」

劇場・舞台芸術の力

一般財団法人地域創造 理事長 **板倉 敏和**

去る7月、びわ湖ホールさんを会場に全国の公共ホール・劇場職員の研修事業である「ステージラボ滋賀セッション」を、私ども(一財)地域創造と(公財)びわ湖芸術文化財団との共催により実施いたしました。

地域創造は、文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりを目的として、全国の地方公共団体等の出捐により平成6年に設立された財団であり、公立文化施設の活性化を図るための各種支援事業(音楽・ダンス・演劇・邦楽・美術・助成)など、多彩なプログラムを実施しています。その中でも、地域における文化・芸術活動を担う人材の育成は最も重要な柱です。

今回びわ湖ホールで開催した「ステージラボ」は、全国から集まった公共ホールの職員を対象に現場経験が豊富な専門家が講師となり、少人数制・短期集中型の実践的な研修を実施するものです。

通算49回目のステージラボとなった今回の滋賀セッションでは、業務経験の浅い職員を対象とした「ホール入門コース」、事業企画の経験の浅い職員を対象とした「事業入門コース」、音楽の事業担当職員を対象とした

2017年度よりびわ湖ホールと文化産業交流会館が統合し、びわ湖芸術文化財団として新たに活動を始めました。これを機にスタートしたこのコーナー。劇場に関わるさまざまな方に想いを綴っていただきます。

今回は7月3日～6日に「ステージラボ滋賀セッション」を共催で開催した一般財団法人 地域創造の理事長板倉様にご執筆いただきました。

「自主事業(音楽)コース」の3コースに全国各地から56人の方が参集しました。

また、各コース共通のプログラムとしてびわ湖ホール声楽アンサンブルの取り組みを学ぶとともに、合唱の楽しみにふれるワークショップでは、同アンサンブルの桂冠指揮者であり、大阪音楽大学学長の本山秀毅さんから直接指導を受け、参加者は合唱の楽しさや大いなる可能性を体感する貴重な機会となりました。

これまで3000人を超えるステージラボの修了者からは、全国各地の公共ホールの館長や芸術監督なども多数生まれています。

今回参加した職員の方々も、琵琶湖の美しい景観の下で得られた成果と人的ネットワークを活かし、文化・芸術の振興を通じた創造性豊かな地域づくりに貢献してくれるものと期待しています。

最後になりましたが、今回素晴らしい場をご提供いただきましたびわ湖ホールの皆様に心より感謝を申し上げます。



↑ステージラボ滋賀セッション「共通プログラム」の様様



↑「ホール入門コース」の研修の様子。実際に演技やダンスを行いました

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147
https://www.biwako-hall.or.jp/

チケットInformation



インターネット予約 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

携帯電話、スマートフォン(iPhone標準ブラウザ、Android標準ブラウザ)からもチケットをご購入いただけます。詳しい推奨環境に関する表示は<http://www2.biwako-hall.or.jp/mobile/env.html>に記載しております。携帯電話、スマートフォンの方はhttps://www2.biwako-hall.or.jp/eticket_mobile/をご利用ください。※パソコンにて登録されたユーザーID、パスワードはそのままお使いいただけます。



電話予約 チケットセンター
TEL.077(52)7136



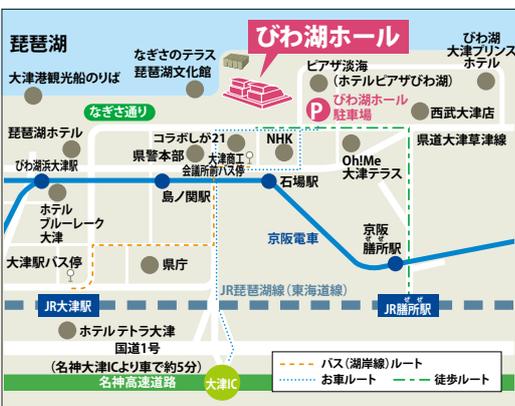
窓口販売
2階チケットセンター

10:00～19:00 / 火曜休館 ※休日の場合は翌日。12月30日・1月1日～3日は休館。
ただし、チケットセンターは12月29日10:00～17:00営業、12月30日電話受付のみ、12月31日12:00～23:00営業。

※チケット料金は消費税込の価格を表示。※()内は会の会員料金。※一部公演を除き全席指定。
※一部公演を除き6歳未満のお子様はご入場になれません。

【青少年割引当日券の販売】 青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年(25歳未満)の方に、半額で当日券を発売いたします。SS～E席のみ、U30・U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い、学生証など年齢のわかるものをご提示ください。

【シアターメイツ優待公演】 シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い(電話・窓口のみ)。



《アクセス》

大阪から新快速で約40分、京都から約10分 名古屋から新幹線/京都駅のかえり約60分

●JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、またはバス「湖岸線」約5分(大津商工会議所前下車、徒歩約4分)

●JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

《駐車場のご案内》有料 849台 24時間営業 料金: 7:00～23:00 1時間毎210円(4時間経過後1時間毎110円)
23:00～7:00 1時間毎110円(時間内最大料金420円)

滋賀県立文化産業交流会館

Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development
〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137
TEL.0749-52-5111 FAX.0749-52-5119

<https://www.s-bunsan.jp/>

チケットInformation



インターネット予約 <https://www.s-bunsan.jp/ticket>

パソコン・スマートフォン・携帯電話から24時間いつでも座席を選択してチケット予約・購入ができます。お支払いは、クレジットカードのご利用のほか、全国のセブンイレブンでのお支払い・チケットの受け取りも可能です。(一部公演、席種を除く)



【利用方法】①会員登録(無料) ②チケット予約・購入 ③チケットの受取(会館窓口 or セブンイレブン)
※ご利用には、会員登録(無料)が必要です。

※お支払い、チケットの受取方法をお選びいただき、期日にてお手続きください。お支払い、チケットの受取方法により、代金の他に手数料がかかります。



電話予約、窓口販売 直接、下記までお問い合わせください。

滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749(52)5111

※月曜休館。月曜日が休日の場合はその翌日以降の休日でない日。年末年始(12月29日～1月3日)



《アクセス》

(電車でお越しの方)

JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線 米原駅西口より徒歩7分

(お車でお越しの方)

北陸自動車道米原インターより約10分 または 名神高速道路彦根インターより約15分

《駐車場のご案内》360台(無料)